

これまで培ってきた多彩な技術を活かして、
社会が真に求めていることに応えていきます。



「世の中に支持され必要とされる会社」 であるために

金融危機に端を発した世界同時不況は、新興国を牽引役として緩やかな回復基調にあると考えられますが、まだ予断を許さぬ状況です。また、温暖化や生物多様性の危機をはじめとする地球環境問題や、資源・エネルギー問題は、さらに深刻さと複雑さを増しています。私たちは今まさに、社会の価値観が大きく変わる、新しい時代への転換期にいると認識しています。

こうした状況下で企業が存続し、成長を続けていくためには、「世の中に支持され必要とされる会社」であるためには何が必要か」という視点から経営判断を行う必要があります。そこで大切なのは、お客様、お取引先、株主・投資家の皆様をはじめとする、さまざまなステークホルダーの皆様のご意見を反映して、事業活動の在り方や注力すべきテーマを見定めていくことです。そしてその根底に、社会倫理を守り、誠実な活動を行う企業姿勢がなくてはならないと考えています。

技術革新を通じて 持続可能な地球・社会の実現に貢献

企業に取り組むべきテーマとして、まず挙げられるのが地球環境問題です。コニカミノルタは長期環境ビジョン「エコビジョン2050」を策定し、CO₂排出総量の削減、資源循環、生物多様性保全の観点から、持続可能な地球・社会の実現に貢献していく姿勢を表明しています。

企業としての地球環境への貢献を中長期の視点で捉えると、既存事業における環境施策を強化するだけでは不十分です。保有する多彩な技術を活かして、地球環境問題の改善、解決に貢献できる新規事業を創出することが重要だ

と考えています。

コニカミノルタはそうした視点から、エネルギー効率を飛躍的に変える有機EL照明や、大幅な発電コスト低減に寄与する有機薄膜太陽電池などの新技術開発に注力しています。持続可能な地球・社会の実現に向けた技術革新による積極的な貢献こそ、製造業に携わる企業に求められている社会的責任であると考えて、環境・エネルギー事業の創出に取り組んでいきます。

品質と安全性に関する 企業としての責任を果たす

お客様からの「品質、安全性に対する信頼」に応え続けることも、企業の重大な責務です。こうした認識のもと、お客様の期待に応える、品質の高い製品やサービスを提供するための努力を継続することはもちろん、品質問題になりかねない事象を迅速に捉える情報収集体制を拡充し、的確に対処することで、問題の発生を未然に防止するための取り組みを強化しています。

大切なのは、経営トップが品質問題をリアルタイムに把握できる仕組みが機能しているか、そして把握した情報をお客様の視点で受け止めて、有効な対策を実施できるかということです。品質や安全性を確保するためのマネジメントシステム、その実践状況、また、品質問題が起きたときに取るべき行動について、社会、市場の視点で適時見直しを行い、改善を進めていきます。

お取引先とともに社会的課題に取り組む

近年、企業に対し、事業活動のなかで人権や労働慣行などの社会的課題の改善、解決にいかに取り組むかが、厳しく

問われています。自社グループ内はもちろんのこと、調達、生産、物流、販売に至るサプライチェーン全体で、お取引先も含めてこれらの課題に取り組むことが求められています。

こうした社会の要請に応えるべく、コニカミノルタは2008年12月、国連が提唱する「グローバル・コンパクト」に署名しました。グローバル・コンパクトは、人権、労働、環境、腐敗防止に関する10の行動原則を示したものです。コニカミノルタはこれに賛同し、その理念を実現するための活動に取り組んでいます。具体的な活動として、お取引先とともに環境・社会的課題の解決に貢献する「CSR調達」を2009年度から開始し、お取引先の賛同を得て、活動の拡大と改善の定着を図っています。

社員一人ひとりの意識改革を通じて

今、世界は大きく変わろうとしています。その変化を捉え、新しい潮流を企業が自らつくり出していくためには、社員一人ひとりの意識が大切です。そこで、コニカミノルタでは、高い目標をもち失敗を恐れずチャレンジする企業風土を醸成するための活動を、世界統一の行動スローガン「simply BOLD(大胆な発想と勇気ある挑戦)」のもとに推進しています。

よりよい社会の実現に貢献する「新しい価値の創造」に向けて、全世界のコニカミノルタ社員がイノベーションを生み出す集団となることを目指してまいります。

コニカミノルタホールディングス株式会社
代表執行役社長

松崎正年